

No. 38	2025年 8 月 17 日
三位一体後第九主日礼拝	
説教『キリストへの信仰の義を求めたい』	
山根 眞三 師	
司会 安部 愛さん	
奏楽 自動演奏機	
招詞 マタイ福音書13章47～50節	
主の祈 (5 6 4)	
讃 詠 5 4 6	
交読詩編 詩 6 3 編	
祈 禱	
讃美歌 21 - 2 2 5	
使徒信条 (5 6 6)	
聖書 ピリピ人への手紙3章2～16節	
説教 (口語訳311頁、新共同訳364頁)	
『キリストへの信仰の義を求めたい』	
祈 禱	
讃美歌 21 - 4 4 7	
献金	
感謝	
報告	
頌 栄 5 3 9	
祝 禱	
後 奏	
次週の礼拝 (三位一体後第十主日礼拝)	
説教『一番大切なことは何』	
マルコ福音書12章28 節～34節	
招詞 ローマ書11章28～29節/交読詩篇17編	
讃美歌 546、21-416、21-158、540	
礼 拝 当 番	
今週 17 日 司会 安部 愛さん	
次週 20 日 司会 市川 真美恵さん	
会堂清掃奉仕 9月7日(日)	
コーヒータイム後に掃除をいたします。	

本 日 の 集 会					
★教会学校		午前9時45分			
★コーヒータイム		礼拝後～			
それぞれの思いを語り合しましょう。					
今週の集会/スケジュール					
台湾ユースミッション交流会 8月19日(火)17:00～					
於：広島流川教会					
肥塚神父・田中靖さんとの大朝交歓会 8月21日					
(木)14:00～22日(金)正午 於：大朝祈りの家					
台湾ユースミッション交流会 8月22日(金)18:00～					
カープ観戦 チケットは各自で購入					
次週以降のスケジュール等					
●レコードコンサート 8月24日(日)13:00～15:30					
メンデルスゾーン バイオリン協奏曲 ホ短調会作品64					
ベートーヴェン 交響曲 第7番 イ長調 作品92					
ベートーヴェン 交響曲 第3番 変ホ長調『英雄』					
素敵な音楽で心を和ませては如何ですか					
広島拘置所教誨奉仕 8月27日(水)13:30～16:00					
主イエスの肉と血に与る聖餐式を守ります。					
施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。					
堀川恵子さんと山根眞三さんとの懇談協議 8月					
30日(土)13:00～ 良い時となるようお祈り下さい					
めぐみ幼稚園二学期始業式 9月1日(月)10:00～					
子ども達の二学期が始まります。神さまの導き守り					
を覚えてお祈り下さい					
広島拘置所教誨奉仕 9月3日(水)13:30～16:00					
キリスト教信徒会理事会 9月8日(月)11:00～12:30					
広島西分区牧師会 9月9日(火)15:00～ 呉平安教会					
◎ 夏 期 特 別 献 金					
神さまの恵みを感謝して、感謝と献身の祈りの					
中に夏期特別献金を捧げましょう。					
目標額 118,500円					
先週の集会	男	女	計		
教会学校	0	0	0		
主日礼拝	1	4	5		

◇今週の説教要旨(三位一体後第九主日礼拝)
『キリストへの信仰の義を求めたい』ピリピ書 3:2～16
先週久しぶりに講壇から語る機会を得た。私としてはそれは説教と言えるようなものではなかった。由美子さんに語ることがなくなって、気持ちを落ち着かせるために心から信頼する友に電話をするようになった。彼女には重い身体障害を持つ息子がいた50年ほど前からの友人だったが、私はその障害を持った子どもと歩む道を作らなかった。先週語った教会の方々にも少しそのことを問いかけた。残念ながら私が期待したほどの反応はなかった。
使徒パウロが大変丁寧な文章を書くほどにこの教会の方を愛していたが、突然激しい文章となった。律法や割礼をこそ大切とするユダヤ人キリスト者に対する意識だ。同じ信仰者のように思えるが似て異なるものだとの決定的な主張がなされる。彼らが自分の出自やさらには能力を誇り、キリストの福音を二次的に追いやってしまう生き方に我慢がならなかった。そんな彼らが誇るもの以上は自分にもある。それらに加えて更にローマ市民権すら有していたのだ。それらがパウロにとってはキリストの故に損と思うようになった。キリストを得る、捉えられることはそのようなこととは本質的に違っているのだ。キリストの愛に捉えられたら人間の能力等から考えられる生き方、発想から全く自由になるのだ。パウロの語る信仰による義。キリストの復活に達したい。パウロの語る義に私も心から達したい。心からそう思う。私たちの愛する死者の姿に出会うことが出来るからです。平和が語られる。戦争によって犠牲になった方々が語られる。彼らの死の姿に与りたい。それ故パウロは語る。私は既にそれを得たとか、完全な者となっているわけではない。わたしは既に捕らえられたとは思っていない。前のものに向かって走っているだけだと。81歳になった私にパウロが精一杯語っているのだ。キリストの信仰の義を得るために！